

マギヤレルの マーケットメモ



デイビッド・マギヤレル CFA, CPA

チーフ・インベストメント・オフィサー

2025年10月

過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

AI CapEx (capital expenditure) Spending is the investment companies make to acquire, upgrade, and maintain the long-term, physical and intangible assets needed to develop and operate AI technology. CapEx is a strategic investment in long-term assets that is depreciated over time on a company's financial statements.

References to specific securities should not be construed as a recommendation to buy or sell and should not be assumed to be profitable.

提示された情報は、特定の個人に対する投資推奨や助言を意図したものではありません。また、本資料は、暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に対して投資戦略に関する結論を下すものでもなく、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供するものでもありません。ファースト・トラストは投資家に関するいかなる情報も知らず、また提供されていません。金融の専門家は、特定の投資が顧客にとって適切かどうかを判断する必要があります。

情報提供のみを目的としています。投資家向けではありません。ここに掲載されている情報は、投資活動への招待、申し出、勧誘、推奨を意味するものではありません。

このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確且つ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。

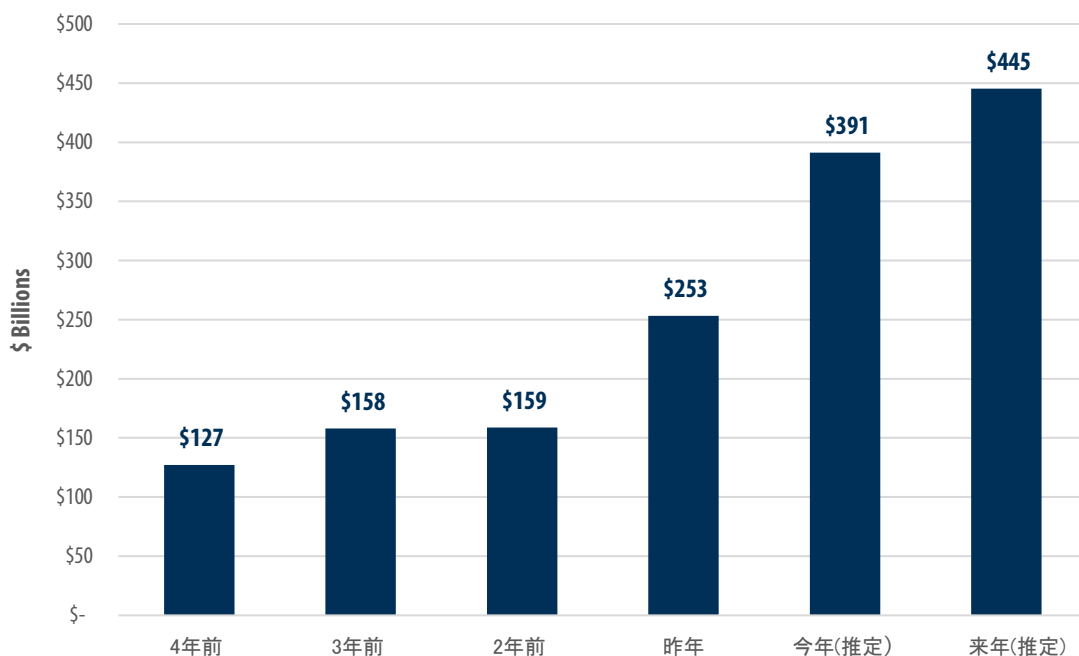
「それを作れば、彼らは来るのか？」

AI(人工知能)にまつわる巨大な物語が展開を続け、株式市場を席巻する中、AIインフラの構築に多額の設備投資を行うと発表した多くの企業が、株価の大幅な上昇という報酬を得ています。その最たる例が、オラクルの9月9日の発表です。同社は、OpenAIと2027年から2032年までの間にコンピューティング・パワーを提供する大規模な契約を締結した後、AIインフラへの支出を急拡大させると表明しました。発表翌日、オラクルの株価は36%も急騰しました。この株価の急騰が妥当かどうかは議論の余地があります。弊社の見方では、市場は将来の予想収益に報いている一方で、オラクルが今後の利益を生み出すために、同社のキャッシュ・フローの大部分と、さらにバランス・シート上のレバレッジ(負債の増加)を投じるという事実に対して、ほとんど懸念を示していません。さらに、市場の焦点は将来の巨額な収益増加に集中しており、利益の見通しについてはほとんど語られていません。実際のところ、利益がどうなるかは、現時点では誰にも分かっていないのです。

公平に言えば、将来の収益や利益を長期的に予測するのは非常に困難なのです。これらの支出は、結果的に株主にとって素晴らしい結果をもたらすかもしれません。しかし弊社は、むしろAI関連の支出から恩恵を受ける側の企業に注目すべきだと考えています。言い換えれば、今後数年間にわたり、この巨額の資金を「受け取る」側はどこなのか？ マッキンゼー社の最近の調査によると、2030年までにデータ・センター関連で5.2兆ドルの支出が見込まれています。その内訳は、60%(3.1兆ドル)がハードウェアや半導体装置などを開発・設計するテクノロジー企業に、残りの40%(2.1兆ドル)が巨大な建物の建設や、電力設備・電気部品の導入に充てられるとしています。

弊社の見解では、将来的な利益を見込んで支出を行う企業よりも、その支出の「受益者」となる企業に投資する方が、リスクとリターンのバランスが良いと考えています。つまり、この猛烈なペースでAIインフラの構築が続くならば、真の勝者は、インフラ構築に必要なハードウェアやソフトウェアを提供するテクノロジー企業、エネルギー企業、建設や設備関連の産業企業、そしてこれら資産に保険をかけたり、AI関連投資に融資を行う金融機関(特に保険会社や銀行)になる可能性が高いのです。

主要テック企業における AI 関連設備投資(CapEx)の合計支出*



出典: キャピタルIQ。データは2025年9月30日時点。このチャートは、例示を目的としたものであり、実際の投資を表すものではありません。

*Amazon、Microsoft、Google、Meta、Oracleの実際の設備投資額(CapEx)と予想設備投資額。過去の傾向の継続および予測の実現を保証するものではありません。